

# 福岡県立大学大学院 看護学研究科

看護学専攻 修士課程

## 入試概要 2027年度[令和9年4月入学]

募集人員	看護学専攻：12名 このうち、助産コース人数は5名程度です
試験科目	面接：自己推薦書、成績証明書に基づく
出願期間	2026(令和8)年6月15日(月)～6月22日(月)17時必着
試験日	2026(令和8)年7月4日(土)
合格発表日	2026(令和8)年7月10日(金)

入試の詳細は  
ホームページ  
をご覧ください。



募集人数を満たさなかった場合は、追加選抜を行うことがあります。

## ACCESS

- JR**
  - 博多方面から  
博多駅→田川伊田駅(約1時間20分)徒歩約15分
  - 小倉方面から  
小倉駅→田川伊田駅(約1時間)徒歩約15分
- 平成筑豊  
鉄道**
  - 行橋方面から  
行橋駅→田川伊田駅(約50分)徒歩約15分
  - 直方方面から  
直方駅→下伊田駅(約30分)徒歩約10分
- 西鉄  
バス**
  - 福岡(天神)方面から  
西鉄天神高速バスターミナル→  
福岡県立大学(約1時間25分/構内乗入れ)  
学生向け福岡都市圏+筑豊地区バス乗り放題定期券  
「筑豊エコルカード」(1ヶ月19,500円)が使えます。
- 車**
  - 福岡市方面から  
国道201号(八木山バイパス経由)下伊田交差点で右折
  - 北九州方面から  
九州自動車道の八幡ICから本学まで約20分  
九州自動車道の小倉南ICから本学まで約30分
  - 大分方面から  
東九州自動車道の行橋ICから本学まで約25分



公立大学法人 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395 TEL 0947-42-2118 FAX 0947-42-6171

福岡県立大学 大学院 看護学研究科 <https://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/>



GRADUATE SCHOOL OF NURSING 2027  
FUKUOKA PREFECTURAL UNIVERSITY

## 看護学研究科

## 教育目的

地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や看護学の創造と発展に貢献できる研究者・教育者を育成する

## 学長メッセージ



大学院における学びは、既存の理論知や他者の経験知との照らし合わせや自身の内省を通じた未知の課題発見およびその解決を目指して、専門職業人として培った価値観や経験知を再考し、その再検証によって、新たな知を創造することにあります。本学大学院看護学研究科においては、少子高齢化社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築とそれに対応した技術革新が求められる現在、その変革を担う、第一線の研究者、高度専門職業人の育成を目指しています。

当看護学研究科には、研究コース、助産コースの2コースがあります。仕事を続けながら修学する環境を整備していますので、それぞれのコースにおいて、実践の中で抱いた問題意識を学修に反映させ、修得したことを実践に反映させるという有機的な課題連携学習を深めていきます。在学中は言うまでもなく、入学に際しての支援から修了後のリカレント研修まで支援体制が充実しています。また、授業においては、国内の著名な講師陣も加わり、わが国の保健医療福祉界の専門的な知識を教授しますので、現代社会の諸課題に対応できるよう実践科学、研究について学修できます。今後の我が国の看護科学を担えるよう、価値ある研究を行ってほしいと思います。

人々の健康と自己実現に寄与すべくより専門性を高めたいと願っている、探究心とチャレンジ精神にあふれた人、是非当看護学研究科の門戸を叩いてください。福岡県立大学大学院看護学研究科の教員は、全力で皆さん方の夢の実現を応援します。

理事長・学長 柴田 洋三郎  
Yosaburo Shibata

## 看護学研究科長メッセージ



看護学専攻では、高度な専門性と倫理観を備え、社会の変化に主体的に対応できる高度看護専門職および研究者の育成を目指しています。研究コースでは、理論と実践を結びつけながら看護学の発展に寄与する研究力を養い、助産コースでは、将来助産師として活躍することを目指し、生命の誕生に寄り添う高度な実践力と判断力を培います。院生一人ひとりの自主的な学修・研究を教育の中核とし、長期履修制度やメディア授業を活用した柔軟な学修環境を整えています。志をもって挑戦する皆さまを心より歓迎いたします。

看護学部 学部長 / 大学院 看護学研究科長 福田 和美 教授  
Kazumi Fukuda

## 看護学研究科の特徴

人間を理解するための学術的な幅広い知識を兼ね備え、社会や対象が抱えている健康上の問題の本質を多角的視点から思考・判断し、多職種と協働し、諸課題に対し適切な看護が選択できる高度看護専門職者を育成します。

地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や、研究者・教育者を養成し、社会で活躍するリーダーの育成を目指しています。そのため、現職の課題を本研究科において、教授陣と共に検討し、課題解決のための方策を導き出すための支援を行います。

- 1 | 看護学研究科は、研究コースと助産コースからなります。
- 2 | 大学院教育により、保健・医療・福祉社会での役割を担うことができる実践能力をもった人材の育成を目指します。
- 3 | 学士の学位は有していないが、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた人は受験資格があります。
- 4 | 2年間の修士課程の授業料で3年間に在学して単位が取得できる制度として、看護職等医療職の方が在職したままキャリアアップできるように、長期履修制度を設けています。助産コースは、長期履修制度を利用することができません。
- 5 | 働きながら学ぶ方のニーズにも対応できるように、夜間・土日に開講する授業、メディア授業の形態を取り入れた学修環境を整えています。

## アドミッション・ポリシー 求める学生像

- 1 看護学を学ぶための基本的知識を有している。
  - (1) 看護を学ぶ基礎的知識を有している。
  - (2) 専門分野に関心と問題意識を有している。
  - (3) 専門分野の知識を基に研究の見通しを立てることができる。
- 2 専門知識を用いて、主体的に課題を解決し社会に貢献できる資質を有している。
  - (1) 看護学に関する未知の課題を主体的に解決できる資質を有している。
  - (2) 専門性を高め、社会に貢献したいという熱意と意欲を有している。
- 3 学習を深めるための基礎的能力を有している。
  - (1) 学習を深めるために必要な基礎的教養(学力)を有している。
  - (2) 課題解決に必要な柔軟な発想と思考を備えディスカッションを深めることができる。
  - (3) 専門知識を用いて自分の考えを論理的に説明できる。

# 研究コース

研究コースでは臨床看護や看護教育を、根拠をもって行うことにつながる基礎的な研究や、看護学や看護教育学の発展につながる研究を行う能力を培い、医療機関等や教育機関あるいは行政機関で、組織の管理者や教育者として看護の質の向上や看護教育の質の向上に寄与する人材の育成を目指しています。



## 教員からのMessage



精神看護学  
村方 多鶴子 教授

### 一歩踏み出す勇気を！

研究コースに入学される方の年代は20～50代と幅広く、看護師や保健師、あるいは専門学校や大学などで教員として働いている社会人がほとんどです。育児中の方もいらっしゃいます。職場や家庭での重要な役割があり、大学院を受験することにハードルが高いと感じていらっしゃる方も多いかと思いますが、そのような状況でも、「働く中で疑問に思ったことを研究により明らかにしたい」、「キャリアアップしたい」などの理由で本学に入学されています。年齢や専門分野など様々な背景をもつ院生と共に学び、ディスカッションをする中で、新たな学びにつながります。共に学びあった仲間との出会いは人生における大きな財産にもなります。受験を迷っている方は是非チャレンジしてみませんか？

## 【研究コース】修士論文テーマ一覧

修了年度	論文題目
2023	看護大学生の臨地実習前後の自己効力感
	訪問看護師における子どもの発育に関する知識と身体アセスメント技術との関連
	看護師の職業的アイデンティティと達成動機、ワーク・エンゲイジメントに関する検討 ～A県中小規模病院で働く看護職を対象にして～
2024	乳幼児の子育て期における父親への集団支援のあり方の検討
	看護師の患者教育力に関する研究 ～慢性疾患の患者教育に携わる病棟看護師に焦点を当てて～
2025	第一子出産時の痛みの経験と第二子育児希望の関連に関する調査研究

## 在学生からのMessage

### 北原 一子さん

産業医科大学産業保健学部 看護学科 助教  
M2(長期履修生)

### より専門性が高い教育者・研究者を志して

福岡県立大学を一期生として卒業後、臨床経験を経て大学院に入学しました。現在は教育現場で働いております。看護基礎教育に携わる中で、より専門性が高い教育者・研究者として成長したいと考え進学を決めました。就労、子育てをしながら学習することに不安はありましたが、同期の方々や先生方に支えられ日々楽しく過ごしています。

大学院の授業はオンライン対応のため、仕事と家庭の両立にとても助かっています。さまざまな年代の方々とディスカッションでき、日々新しい看護や研究の追求ができる場はとても刺激的で充実しています。みなさんもぜひ、一緒に学んでみませんか。



### Do, or do not. There is no try.

### 金谷 史哉さん

新行橋病院 救急外来 M2(長期履修生)

「看護は実践する科学」。その言葉通り大学院で看護学を探究しつつ、現在も救急外来で働いています。就労しながら進学することに迷いはありましたが、パンフレットの在校生メッセージで「やるか、やらないか」との言葉に刺激を受け受験を決めました。両立が大変なこともあります、大学院での学びが看護に深みを与え、患者に還元できると思うと楽しくて仕方がありません。このパンフレットを手にとっていらっしゃる皆さんなら、きっと私と同様の「楽しみ」を実感できると思います。



### 実践と研究から、自分の看護を育む

### N.Yさん

訪問看護ステーションMAGA+Re M1(長期履修生)

精神看護の学びを続ける中で、私は「患者さんとの関わりの中で生まれる、まだ言葉や名前のついていない関係性や感情、ケアに触れる場面」に多く出会ってきました。大学院では、そうした場面に込められた思いや関係の動きを丁寧に見つめ直し、より良いケアにつながる手がかりを探しています。

仕事では、訪問看護ステーションで重度の精神障がいをもつ方を地域で支える包括的支援(ACT)に携わっており、実践で得た気づきを研究へ、研究で得た視点を臨床へと行き来しながら、自分の看護観を育てているところです。仕事と学業を両立しやすい環境が整っているため、働きながらも学ぶことができます。また、多様な背景をもつ同級生と学び合えることも貴重な体験です。次年度に入学される皆さんにも、そうした出会いが訪れるとうれしいです。

教授 石田 智恵美(看護教育学)  
教授 江上 千代美(実験看護学)

▶ 基礎看護学

基礎看護学分野では、看護の基盤となる看護の主要概念について多様な観点から検討し、理解を深めていきます。また、理論に基づく効果的な看護技術教育について、看護技術の教育実践を分析する方法と学生の力を引き出し高める教育方法を探究します。さらに、従来用いられている看護技術の根拠について、実験的手法を用いて検証する方法や、効果的な看護技術の開発を推進する能力を修得します。

▶ 看護心理マネジメント学

認知心理学を基軸として、看護学を論理的・科学的に探究する理論と方法を学びます。看護学と心理学・行動科学の視点を基盤に、組織マネジメントの考え方を統合し、保健医療福祉サービス提供に関する諸問題を踏まえて、看護実践や教育を研究的に捉え、課題解決能力を修得します。

▶ 看護教育学

患者教育・看護師教育・学生教育・自己教育など、看護に関わる教授＝学習過程に共通する教育理論や方法論について修得し、その根底にある教育哲学について学修します。看護教育を実践・研究することのできる人材を育成することを目的としています。修了生は、各大学の教員として臨床の教育者として活躍しています。

▶ 実験看護学

実験看護学では、形態機能学と生理学に基づいた根拠あるケアを論理的・科学的に探究する理論と方法を学びます。さらに現在健康課題や社会問題となっている看護を取り巻く事象について取り組まれている看護実践の有用性について、実験手法を用いて検証を行います。

教授 尾形 由起子\*(地域看護学)  
教授 松浦 賢長(思春期ヘルスプロモーション)  
教授 波止 千恵\*(在宅看護学)

▶ 地域看護学

わが国の喫緊の課題である在宅医療や在宅療養の支援と支援システムを研究課題とする研究を進めています。これまで、子育ての社会化(ソーシャル・キャピタルの視点)、地域に住む中年期男性統合失調症患者と老親の支援、在宅で療養する神経難病患者的の支援ネットワーク形成に係る保健師の調整技術、末期がん患者の在宅ケアシステム構築に係る連携、2型糖尿病患者の看護等について保健師の視点で研究を行っています。

▶ 思春期ヘルスプロモーション

思春期の母子保健、学校保健、思春期保健を対象とする中、特に性的問題や精神疾患・発達障害等の研究に力を入れています。課題背景となる家族問題や虐待、不登校・ひきこもりについては実践に即した社会的な支援の仕組みのあり方を探究します。妊娠前から乳幼児期・児童期・思春期に至る過程の課題、すなわち母子保健と学校保健については政策・施策を踏まえた研究課題を設定していきます。

▶ 在宅看護学

在宅看護学分野では、地域で暮らす人々が安心・安全な療養生活を継続できるための看護の実践を探究しています。高度な看護技術のみならず、暮らしから看護課題をとらえ自助・互助を視野にいたった多職種連携などチームアプローチの視点から研究を進めています。

教授 福田 和美(成人看護学)  
教授 村方 多鶴子(精神看護学)

▶ 小児看護学

子どもの最善の利益を守ることを基本理念に、乳児期から思春期発達段階の子どもの健康時、急性・慢性・ターミナル期、障がい、在宅などあらゆる健康段階や状況における成長発達や生活環境を理解し、その子らしく家族とともに生活できるよう、生活の質向上や健康増進のための実践と研究方法について意見交換しながら探求します。

▶ 成人看護学

成人期にある患者(家族)を生活者の視点、ライフサイクルの視点、健康レベルの視点でとらえ、患者の生命及び患者(家族)のQOLの向上に寄与する実践、研究を追求します。地域包括ケアに対応できる看護職者が求められている現在、臨床での看護を基礎とし、成人期にある患者(家族)の身体・心理・社会的側面に関わる諸課題を探究する能力、理論・看護の概念モデルを用いた看護を実践する能力を備えた人材の育成を目指します。

▶ 老年看護学

在宅・施設および医療機関というあらゆる場における様々な健康課題を持つ高齢者とその家族に対する教育や援助のためのアセスメントツール、倫理的課題解決の方法、対象者をとりまくケアシステム構築のプロセスやチームアプローチの方法、専門的看護の方法を経験や事例をもとに検討できる能力を修得します。

▶ 精神看護学

精神看護学では、子どもから高齢者まで幅広い方を対象としています。そのため、既存の理論やモデルを用いて、それぞれの発達段階におけるメンタルヘルスについて学習します。また、精神科病院内の看護に限らず、地域・在宅を含めた幅広い領域で課題を見つけ、その課題を探求し、研究につなげていく能力を修得します。

教授 杉浦 和子(助産学)

▶ 助産学

ウィメンズヘルス、リプロダクティブヘルスの観点、周産期の倫理、管理、実践において、主体的に探求する能力を養います。多角的な視点を持ち、多様な意見を受け入れ、研究能力の向上を目指します。将来は、培われた能力を臨床や教育分野で発揮し、さらに活動領域を広げていくことに役立てることが出来ます。

# 助産コース

目指せる専門職

□ 臨床家（助産師） □ 研究者 □ 教育者

助産コースは、周産期の様々な課題に対応するため、高度で自律した助産実践能力を身につけた助産師を目指すコースであり、助産師国家試験受験資格を取得することができます。また規定の科目を習得することで、受胎調節実地指導員申請資格・新生児蘇生法「専門」コース認定申請資格も取得することができます。妊娠期から育児期のみならず、女性の一生を支えることのできる助産師を目指し、学びを深めます。共に学び、高め合い成長していきます。皆さんも私たちと一緒に助産師を目指しましょう。待っています。



## 学習風景



分娩期の演習

### 教員からのMessage



助産学  
杉浦 和子 教授

このページをご覧いただきありがとうございます。  
本学の助産コースは、豊富な助産師経験を持つ教員や専門職による教授により、専門的な知識と高い技術を習得することができます。豊かな人間性も養われ、将来は臨床助産師、教育者、研究者への道が開けます。  
助産師を目指す方、本学でお待ちしております。



### 先輩方の主な就職先

- 飯塚病院
- 産業医科大学病院
- 東野産婦人科
- エンゼル病院
- 福岡徳洲会病院
- 医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院
- 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院など

### 修士論文テーマ一覧(2025年度修了)

- DV被害を受けている女性に対する看護職の支援に関する文献レビュー
- 双子の母親の体験とニーズに関する文献検討
- 不妊治療を経て出産・育児を迎えた母親の体験 —求めるニーズに視点を当てた文献検討—
- 緊急帝王切開で出産した女性の体験の文献検討
- 思春期女子のやせ願望の要因に関する文献検討

# 看護学研究科の 修了生の今

2007年4月に本研究科は開講してから、修了生は142名(2026年3月時点)に達しており、臨床・教育現場の第一線で活躍しています。



医療法人愛成会 東野産婦人科医院

井浦 碧さん

助産実践形成コース(現 助産コース) 2024年3月修了

## 母子と家族に寄り添う助産師をめざして

少人数だからこそ学生同士のディスカッションも豊富にでき先生方への質問も行いやすく、先生方も時間をかけて丁寧に教えてくださいました。授業や実習の中では、母子やそのご家族に寄り添う助産師という職業に魅力を感じながら学生生活を送ることができました。

現在は助産学生時代の実習先であった病院で助産師として働いており、日々成長できる学びがあり充実した日々を過ごすことができています。学生時代に学んだ患者さんに真摯に向き合うことを忘れずに丁寧な医療を今後も目指していきたいと思っています。



久留米大学病院 高度救命救急センター 看護師

深町 由華里さん

研究コース 2023年3月修了

## 自分の可能性を信じて

仕事、子育てをしながらの学業に不安がありましたが、オンライン講義や講義の時間を調整していただいたことで、無理なく単位取得ができました。修士論文は何度もくじけそうになりましたが、進むべき方向性を示していただき、無事に書き上げることができました。先生方のご指導の賜物と感謝いたしております。修士課程で学んだことによって、臨床の場で起こる事象を、理論的・科学的な視点で考え、経験を知識に変換するすべを学べたと思います。大変なこともありましたが、自分自身に自信を持つきっかけとなり、より看護が好きになりました。

## 働きながら学ぶことが、看護のキャリアをひらく

私は、自衛隊看護師として約20年間勤務したのち、教育や研究について体系的に学びを深めたいと考え、職場の支援を受けて大学院に進学しました。本学大学院では、年齢や経験の異なる同期とともに、少人数で丁寧に対話してくださる先生方に支えられながら看護観を深く見つめ直し、自分の可能性を広げる貴重な時間を過ごすことができました。現在は防衛医科大学校の基礎看護学講座で教員として勤務し、学生と共に看護について考え、成長する喜びを感じています。令和8年4月からは博士課程に進学し、看護職がいよいよ働き続けることを支える研究をさらに深めたいと考えています。

防衛医科大学校医学教育部  
看護学科

満島 杏子さん

研究コース 2024年3月修了

# 学生支援体制

学務部に学生支援担当教員を配置し、大学院生の相談等に対応できる体制を整えています。個別対応はもちろん、各学年から選出された代表学生を通じて、学年全体への対応も行えるようにしています。また、看護学研究科専用の院生室も整備しています。院生室には院生専用の机とロッカーがあり、無線LANによるネットワーク環境も整えています。このような体制のもと、院生は安心して学習に取り組むことができ、充実した院生生活を送っています。

## 1 在学中の支援

- 院生室に、院生専用の机、ロッカー、無線LANによるネットワーク環境を整えています。
- 学生相談窓口として、各学年の代表学生1名が担当しています。また、大学院担当(学務部会)の教員の中から3名が学生支援担当者として学生に関わっています。
- 国内学会参加費補助制度があります。

## 2 修了後の支援

- 修士論文の学会発表・投稿等の支援を行っています。

## 3 学費等

入学科	県内居住者:282,000円 県外居住者:520,000円
授業料	535,800円 (前期、後期で分納)
授業料の減免	経済的理由等により授業料の納付が困難で、かつ学業が優秀と認められる場合に授業料の全額(または半額)を免除する制度があります。

詳細は、掲示コーナーでお知らせします。

## 4 奨学金

日本学生支援機構、本学及びその他(地方公共団体・民間団体・病院等)の奨学金があります。

実施主体	内容	備考
日本学生支援機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第一種奨学金(無利子貸与)</li> <li>■ 授業料後払い制度(無利子貸与)</li> <li>■ 第二種奨学金(有利子貸与)</li> </ul>	4月上旬に説明会を開催しますので、希望者は必ず出席してください。
福岡県立大学	学費負担者の被災や病気等により修学を継続することが困難な学生に対し、貸与総額60万円を越えない範囲で貸与します。	自然災害等の特別な事情がある場合を除き、採用は原則毎年度1名となります。

その他の奨学金については、掲示コーナーでお知らせします。

本研究科の詳細は ホームページ <https://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/> をご覧ください。

お問い合わせは 福岡県立大学アドミッション・オフィス  
TEL 0947-42-2118 〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395